

HuMA News Letter

フィリピン台風ハイエン被災者支援の報告 ～初動調査および本隊医療支援チームを派遣～

○セブ島およびレイテ島に初動調査チームを派遣

フィリピン中部レイテ島を襲った台風ハイエンは被災者970万人、死者行方不明者は1万人に達し、避難住民は62万人近くに上りました。台風が通過した地域の70～80%の建物が破壊され、避難所もまだ十分に機能せず被災住民は壊れた建物での生活を余儀なくされていました。従ってHuMAでは2013年11月18日から初動調査隊を現地セブ島およびレイテ島に派遣し、今後の医療支援活動のニーズ調査、また現地での医療活動の状況等を調査し、次期本隊医療支援活動の必要性を確認することが出来ました。



台風の被害を受けたセブ島北部



レイテ島へ渡るフェリー

フィリピン中部レイテ島を襲った台風ハイエンの被災者支援のため、当初セブ島での活動を考えていましたが、今後1ヶ月間かけて本隊医療支援チームが活動するほどのニーズとは思われませんでした。従ってレイテ島のオルモック市近郊のメリダ町へ渡り、傘下のバランガイ(村)を訪問し、まだ十分に医療が行われていないことを確認することが出来、この地で医療支援活動を行うことに決定しました。また初動調査チームは帰国後、成田空港で記者会見を実施し、翌日のNHKの朝のニュース番組でその模様が放送されました。



オルモック市の港



オルモック市の保健省の医師と共に



メリダ町近郊のバランガイの子供たち



記者会見の後の記念撮影

○引続きレイテ島に本隊医療支援チームを派遣

レイテ島メリダ町傘下のバランガイにおいて、11月25日から医師9名、看護師9名、調整員5名の合計23名によって、被災住民に対して医療支援活動を実施することが出来ました。特に沿岸部および山間部の村々を巡回診療した結果、急性呼吸器感染症や皮膚疾患が多く見られました。そして保健省のメリダ町事務所へ医薬品および医療機器のドネーションを実施すると共に、政府関係機関、医療機関に対して支援活動の最終報告書を提出することにより、被災住民の医療状況の現状を理解してもらうことが出来、2013年12月28日に無事帰国を果たしました。



バランガイへは4WDの車で移動



バランガイで診療を行うHuMA医師



Vscanを見ながら妊婦の検診を行うHuMA医師



バランガイで診療を行うHuMA医師



ドネーションを行うHuMAメンバー



クリスマスパーティに集った村の人たち

○会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針にご賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。

資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の場合、また**寄付者の掲載について匿名をご希望の方は**下記事務局までご連絡を頂きますようお願い致します。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
理事長 前川 和彦

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149
口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数**471名**
・正会員・登録会員**342名**
・賛助会員**129名**
(2014年1月末現在)

発行＝認定特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
連絡先＝東京サポート事務局 〒154-0002東京都世田谷区下馬1-32-4アーテルホフ今井201
TEL/FAX: 03-3413-7510 Email: tso@huma.or.jp ホームページ <http://www.huma.or.jp>